

市議選必勝、対話支持拡大 深谷市選対ニュース

(部内資料)

日本共産党深谷市選挙対策本部

2011年 2月 10日 No. 3

発行責任者 本部長 中島 保



2/10(木) 藤沢地域後援会で「深谷市政に共産党の風を」のスローガンのもとに「春を呼ぶ集い」が開催されました。藤沢地域のみなさんや保育園にお勤めの近くの方も参加され、31名の参加者でした。

橋本澄三さんと白石美佐子さんアコーディオン演奏は、川村さんによる歌声から始まりました。つづいて、第二さくら保育園のみなさんによる「新システム」紙芝居が行われました。介護保険と同じしくみにして、預ける時間によって保育料を決めるしくみに変えてゆくもの。「保育難民」を生むと分かりやすく、面白い紙芝居でした。お話の「リセット」も笑いを誘いました。子育ては、自己責任と保育所探しも、自分で、突然の廃園など多くの問題のあるシステム、「保育の構造改革」と言われています。学童保育にも適用されます。国と自治体が保育に責任を持ち、お金もしっかりかけてこそ、保育です。



清水むつみ議員は、フルート演奏で歌声を盛り上げました。その後、むつみ議員による市議会報告が行われました。12月議会は、多くの請願が出され、保育園からの「新システム」に導入しない意見書、民商による「56条見直しを求める意見書」農協からだされた「TPPの参加に反対する」意見書、小・中学校にエアコン設置補助を求める意見書などが可決され国などの関係部署に届けたこと。手数料の値上げ案に共産党の清水議員以外の全員賛成で可決されたこと。小島市長の事業仕分けによる利用料の値上げ、各種補助金の削減の動きなどについて報告されました。

鈴木市委員長が、候補者の紹介の後、むつみ候補とおさむ候補のあいさつと決意表明が行われました。

むつみ候補からは、63年生まれなので「睦」の名前、民商で14年間事務局員、平成11年に議員になり3期務め、4期目に挑戦です。菅首相の消費税の引き上げ反対の意見書を全会一致で上げた。子どもの医療費、10月から窓口払いの廃止。中学までの無料化に。予防接種の無料化、住宅リフォームの実現に頑張る。一人議員では、会派作れない。おさむ候補とともに会派をつくるためにも2人の議席をつくるために頑張ります。

【質問の答え】①フルートを吹くきっかけは、木製の笛を吹えていましたが、友達がフルート吹いていたので、負たたくなくて私もフルートを買って練習し、高校に入ってからでもブラスバンド部でフルートをやりました。10月の緑の王国の森の音楽会に出演しています。落語も好きで、落研のあった高校に入ったのですが入学したらなくなってしまいましたのもきっかけのひとつです。70億不足しているので、各課の予算を削減して、新年度の予算をつくる必要があると当局は言っていますが、市民サービスを削減しての予算には、反対です。議案提案権は、1/12議席が必要ですので、他会派と協同し、議案提案をしていきます。



おさむ候補 旧川本町の保守的な農家で三男として生まれました。30年前に河野元町議の献身的な活動に感化され、日本共産党の仲間に入りました。平成7年から川本町議になり、合併で深谷市議になりました。前回の選挙で力不足で落選しましたが毎回議会を傍聴してきました。本当に悔しい思いでした。【質問の答え】 ジョギングのきっかけは、父親が脳梗塞で倒れました。私も結婚した時期から、健康管理が大切と31歳から、家の周り500メートルからはじめ、10キロから20キロと走るのが楽しみでした。筑波学園都市マラソンが30キロだったので参加しました。今年の深谷市のハーフマラソンに参加を申し込んでいます。わかめの酢の物が大好きです。

学童保育は、旧川本で保育運動にとりくんでいましたが、学童保育を必要としている方がいたので、学童保育を創る会の会長として1年運動し、学童を創ることができました。子どもたちとキャンプなどにも行きました。公設公営が基本だと考えていますが、国と自治体が責任を持ってやるべきだと考えています。

「ゆ一君」人形(横浜で米軍の飛行機事故で亡くなった子供の名前で、人形としての権利を持っている=にんげん)と中野さんの愉快な腹話術も大変好評でした。中野さんは、お相撲の「呼び出し」になりたかったそうです。政治の「行事」が必要と日本共産党の躍進を強調されました。



閉会のあいさつ 橋本良支部長は、中南米のコスタリカでは、日本の平和憲法に学んで、軍隊を持つことをやめました。その予算を全て教育予算に振替ました。また、この国は、訴訟が簡単にできます。日本も憲法をくらしにいかしてほしいです。作業所の方も来ています。作業所の商品も買ってくださと閉会のあいさつをしました。